

おうちで楽習保育®をやってみよう

本育®あそび編

本は誰もが楽しむことができ、子どもにとって絵本と出会うのはとてもうれしい経験です。子どもは、絵本を通して心を育て、言葉をまなびイメージをふくらませます。絵本を読んでもらった子どもは、情緒が安定し、たくさんの愛情を感じることができるでしょう。また、絵本の世界に親しみ、自由に表現することにより想像力・表現力・コミュニケーション力を伸ばしていくことができます。

絵本の世界を楽しむことは、**脳と心の栄養**になるのです。

「本育®あそび」編では、「読み聞かせ」と「お話あそび」2つの視点から、本を通して心を通わせ合う「おうち時間」の過ごし方をご紹介します。

本育®あそび
Q&A 保育施設に通う保護者様からよくある質問に専門家が答えます!!

Q 子どもを本好きにするには、本をたくさん買わねばいけませんか？

A 家に本棚があり、いつでも子どもの手の届くところに読むに値する本があることは大切です。でもそれらが図書館の本であっても良いのでは？週末にご家族でお近くの公共図書館に向き、借りてきた本を本棚へ。**いつでも好きな時に本に手が届くことが大切**なのです。

Q 毎晩就寝前に絵本を読み聞かせていますが、子どもが途中で眠ってしまい、最後まで読み通せません。続きを翌日読んだ方がよいのでしょうか？

A 就寝前の読み聞かせは、**そのひと時こそが**大切で、物語を知ることはあまり重要ではありません。お話の続きは、お子さんが望めば読んであげてもいいですし、そのままでも構いません。**お子さんの望むように**してあげましょう。

お家でできる お話あそび

子どもは好きな絵本を繰り返し見たり聞いたりするなかで、絵本の世界を想像することが楽しくなり、お話あそびが始まります。お子さんの発想や想像を大切にしながら、一緒にお話の世界で遊んでみませんか。

乳児編 1 『しあわせならてをたたこう』
 テビット・A.カーター：作/大日本絵画

絵本紹介 「しあわせならてをたたこう、パチパチ」と、身近な動物が手をパチパチしたり、しっぽをバタバタしたりする仕掛け絵本です。

お話あそび まねっこ、おなじ、スキンシップが大好きな時期。動物の鳴き声や動きのまねっこも楽しいですね。



2 『どうぶつのわかっていること・わかっていないこと』
 ぶん：きのした さとみ・え：よしもり ひろすけ/小学館集英社プロダクション

絵本紹介 世界には、わかっているようでわかっていないことがいっぱい。「もしかしたら、〇〇だから?」「それとも…?!」など、親子で自由な発想を面白がってみませんか?

お話あそび 絵本で見た動物たちを実際に動物園で見たら、迫力満点!!心に響く経験になり、見たまま感じたままのやりとりが楽しめますね。



幼児編 1 『たべもののまち』
 さく・え：こた/小学館集英社プロダクション

絵本紹介 A～Zで始まるたべもので出来た、世界で一番おいしそうなABCcity。ありそうでなかった食べ物で出来た街にレッツゴー!!

お話あそび アルファベットを使った遊びのイメージがどんどん広がって、次々と楽しい遊びが始まります。



やってみよう! 就学前に読みたい本100選の活用方法



「楽習保育®チャンネル」で検索!



専門家の声 VOICE

「幼年童話のすすめ」

こたまひろみ 児玉ひろ美先生

●楽習保育®本育®あそび「よみかかせ」教育アドバイザー
 JPIC読書アドバイザー 公共図書館司書
 鎌倉女子大学非常勤講師

「そろそろ一人読みをさせたいのですが、お薦めの絵本がありますか?」と、ご相談を受けることがよくあります。そんな時お薦めなのは、絵と文が一体となって物語の世界を作る絵本ではなく、**縦書きの幼年童話**です。

幼年童話は、文字だけでは幼子に伝わりにくい部分に、適切な挿し絵があり理解を助けます。まずは、お話の楽しさを知るために、幼年童話を読んであげることから始めてみましょう。暫くすると、お子さん自ら「読んでみたい」と言い出すことでしょう。

その時こそが、一人読みへのラストタイミングなのです。とはいえ、「読むこと」「書くこと」は小学校入学後に教えてもらえます。でも、「聞くこと」はどうでしょう? 聞くことが不意得手だと、せっかの「読み書き」の教も受け入れることができず。

そう、入学準備の第一歩は、むしろ「聞くこと」なのです。どうぞそとさんの物語をシャワーのように、あなたの声でお子さんに注いであげてください。たっぷり物語を満した子どもは、自らの力で、読むことと書くことへの憧れを育て、次の世界への扉を開けるのです。ここ数年は良質な幼年童話の出版が増えています。

きっと楽しい物語に出会えることでしょう。